

この添付文書は本剤とともに保管し、服用の際には、よくお読みください。

漢方製剤

第2類医薬品

りゅうたんしゃかんとく

竜胆瀉肝湯エキス〔細粒〕93

本方は、「薛氏十六種」という本に載っている薬方です。瀉肝とは、「肝経の湿熱を去る」の意で、泌尿器の疾患に用いられる処方です。



●使用上の注意●



してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)

次の人は服用しないでください。

生後3ヵ月未満の乳児



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

- (1) 医師の治療を受けている人
- (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人
- (3) 胃腸が弱く下痢しやすい人
- (4) 今までに薬などにより発疹・発赤、かゆみ等を起こしたことがある人

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性がありますので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	食欲不振、胃部不快感

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
*間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがありますので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

下痢

4. 1ヵ月位服用しても症状がよくなりえない場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください。

(裏面につづく)

●効能・効果●

体力中等度以上で、下腹部に熱感や痛みがあるものの次の諸症：
排尿痛、残尿感、尿のにごり、こしけ（おりもの）、頻尿

●用法・用量●

次の量を食前又は食間に水又は温湯で服用してください。
（食間とは食後2～3時間を指します。）

年 齢	1 回 量		1日服用回数
	分包剤	大入り剤	
大人(15才以上)	1 包	2.0 g	3 回
15才未満7才以上	2/3包	1.3 g	
7才未満4才以上	1/2包	1.0 g	
4才未満2才以上	1/3包	0.7 g	
2才未満	1/4包	0.5 g以下	

〔用法・用量に関連する注意〕

- (1)用法・用量を厳守してください。
- (2)小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。
- (3)1才未満の乳児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させてください。

●成分・分量●

本品3包(6.0g)又は6.0gは

トウキ	2.5 g	シャゼンシ	1.5 g
ジオウ	2.5 g	リュウタン	0.5 g
モクツウ	2.5 g	サンシシ	0.5 g
オウゴン	1.5 g	カンゾウ	0.5 g
タクシャ	1.5 g		

上記より製した竜胆瀉肝湯水製工キス7.0g(乾燥物換算で約2.8gに相当)を含有する細粒剤です。添加物としてメタケイ酸アルミン酸Mg、ヒプロメロース、デキストリン、乳糖、トウモロコシデンプン、香料を含有します。

●保管及び取扱い上の注意●

- (1)直射日光の当たらない、湿気の少ない涼しい所に保管してください。
- (2)小児の手の届かない所に保管してください。
- (3)他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり、品質が変わることがあります。)
- (4)本剤は天然物を成分としていますので、製品により若干色調が異なることがありますが、効果には変わりありません。
- (5)分包剤で1包を分割した残りを使用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に使用してください。
- (6)使用期限を過ぎた製品は服用しないでください。

●お問い合わせ先●

松浦漢方株式会社 薬事学術部

TEL (052)883-5131 受付時間 10:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

発 売 元

松浦漢方株式会社
名古屋市昭和区円上町24-21

製造販売元

 **松浦薬業株式会社**
名古屋市緑区大高町寅新田36